

総裁 秋篠宮・同妃両殿下 神宮宮域林をご視察



「造林奉仕十周年記念植栽地」で、ヒノキ苗をお手植え



「大日本山林会造林奉仕記念碑」をご視察



記念碑は、かつての奉仕者宿舎の跡地に建立された



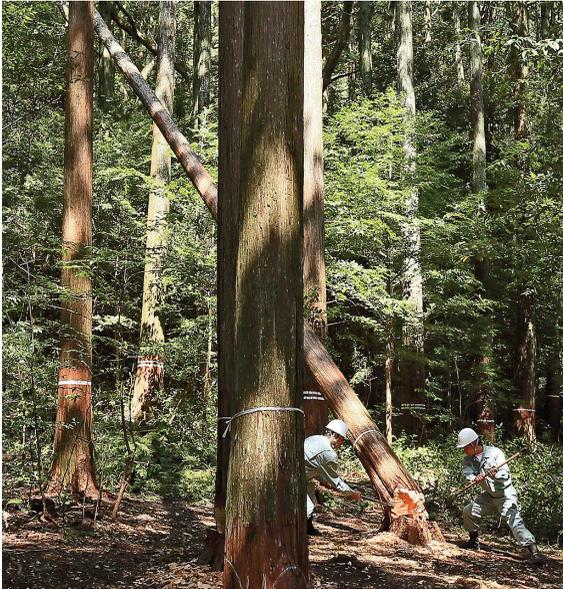
「三つ緒伐り」の所作実演地で
伐倒方向をご覧になる両殿下



白い紐が巻いてあるのは、
今年度の間伐予定木
妃殿下は「よい香り」と深呼吸された



受口が伐倒方向



「三つ緒伐り」は、斧のみを使用する伐倒作業である

三つ緒伐り手順：

- ①伐倒方向に大きな受口を作る
- ②反対側に小さな追口を二か所作る
- ③細い横弦が二つ、太い追弦が一つできる
これらが、三つ緒である
- ④追弦を斧で伐ると、受口方向に木がゆっくり傾き始める

大日本山代会総裁秋篠宮文仁親王・同妃両殿下におかれましては、平成30年4月18日（水）から19日（木）にかけて、神宮にご参拝になり、神宮宮域林と神宮農業館をご視察になりました。

大日本山代会は昭和27年から56年まで、神宮の宮域林において造林奉仕事業を行ってきました。造林奉仕は30年間で、合計40回、参加総人員10,274名、植栽総面積546.4haに及びました。

宮域林内のご視察は、平成9年に建立された「大日本山代会造林奉仕記念碑」、昭和37年に、当時の総裁高松宮殿下がヒノキをお手植えされた「造林奉仕十周年記念植栽地」、並びに、古くから伝承されてきた方法で間伐木を伐倒する「三つ緒伐り所作実演地」の三か所でした。

両日は天候にも恵まれ、新緑がまばゆい中、両殿下には森林浴を楽しまれました。

最後になりましたが、小松揮世久大宮司をはじめとする神宮司庁の皆様には大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

（大日本山代会会長 田中 潔）